



# コロナ禍の中での女性と子どもの 貧困のリアルとサポート

2023.4.2 反貧困ネットワーク全国集会  
大阪社会保障推進協議会事務局長・シンママ大阪応援団代表  
寺内順子

# 寺内順子の自己紹介

○1991年～ 大阪社会保障推進協議会(大阪社保協と略)入局、現在事務局長。

○運動の柱は①国民健康保険②介護保険③生活保護④子ども・女性たちの貧困解決

○2008年・2009年 無保険の子ども解消大運動➡親が国民健康保険料

を滞納してもその子どもには必ず保険証が交付(現在18歳まで)

○2015年 大阪社保協がシンママ大阪応援団サイト立ち上げ

○2018年 一般社会法人化し大阪社保協から切り離し独自に活動

シンママ大阪応援団によろこそ！

このサイトはシンママになった方、  
またシンママになる前に悩んでいる方にむけて  
作ったものです。



シングルマザーとこども支援サイト

シンママ大阪応援団



まずは自分を大切にしてください。

夫やパートナーからされる行為、発せられる言葉など、  
あなたがいやだと感じているなら、  
その気持ちを大事にしましょう。

あなたを支えようとしてくれる人たちは  
たくさんいます。

とにかく、このサイトを見て  
思い当たることがあればいつでもご相談ください。



# ママたち、女性たちからメールでSOS

## SNSの良さ

- 顔が見えないから相談しやすい
- 近くじゃないから言いやすい
- 必ずすぐにリターン
- 相談より「食べ物ありますか?」「お米送りますよ」

# ママたち、女性たちからメールでSOS

- 会えるようなら会う
- 緊急性がある場合はすぐにTEL
- たいていは**交通費がしんどい**のでこちらから出向く
- メールのやりとりだけの場合も
- 若い女性**なので必ず**美味しいお菓子、ケーキ**を介在させる
- こちらからは**なにも聞かない、言わない**
- いま困っていることだけ**を聞き、解決するためにサポートする
- 「**本当の貧困者**」探し、「**かわいそうな人認定**」はしない

# シンママ大阪応援団活動の2大柱

①毎月何もきかず言わず必ず送るスペシャルボックス(食糧・日用品等送付事業)～sosが来たらすぐに送る。

②拠点zikka(実家)運営事業

○ごはん会、お泊り、お料理レッスン、相談、緊急一時保護、産後ケア等々 なんでもできる居場所

○大阪市内の3LDKのマンションを借り上げ

# 毎月必ず送るスペシャルボックス

○2016年11月からスタート

「毎月末には預金残高が1000円未満になるのでおろせず一週間パスタと塩コショウで暮らします」

○2020年2月61世帯⇒2020年12月124世帯⇒2021年12月191世帯  
⇒2022年2月240世帯(コロナ第6波の影響)⇒2023年3月216世帯

○明らかにコロナの中で急増

○送付先は北海道、岩手、東京、神奈川、千葉、長野、愛知、三重、大阪、京都、滋賀、奈良、兵庫、広島、徳島、沖縄のシンママさん、子どもたち、頼る親のいない女性たち。全体の6割大阪府在住、3割大阪市在住

○毎月100人以上のサポーターさん(応援団を応援してくれる方)が関わる

○**スペシャルボックスはサポートの入り口**。だから審査などしない。ここからながいお付き合いが始まる。

# スペシャルボックス発送数実績

	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年
1月		8	40	57	60	126	174	216
2月		8	41	58	61	132	240	210
3月		9	42	56	78	138	210	214
4月		9	45	59	81	126	200	0
5月		10	47	57	110	128	210	0
6月		17	47	57	103	134	200	0
7月		22	48	56	98	138	190	0
8月		24	50	59	110	163	210	0
9月		27	50	60	111	163	200	0
10月		32	51	61	106	170	200	0
11月	6	33	53	62	117	180	215	0
12月	7	36	56	63	124	191	215	0
合計	13	235	570	705	1,159	1,789	2,464	640





限定  
今搾  
汁醸

720ml瓶詰×6本入

16枚亀田のまがりせんべい  
93896 入数|12個入

340

amazon

北見F1玉ねぎ

第50回 日本農業賞 入賞受賞  
きたみらい玉葱振興会

JAきたみらい

16枚ばかうけ(ごま揚)

賞味期限 23.05.22.迄

12袋入

葉とらず  
ほほえみりんご

品種 ふじ・王林

吹田勝義





2022年10月徳島から





スペシャルボックス発送は月二回に分けて毎月第2火曜日と第4日曜日の午前中に約100世帯ずつ、合計200世帯に発送。

発送の場はみんなの「居場所」。楽しいからみんながやってくる。





シンママ世帯のくらしのリアル

ひとつことでいうと、

「想像を超える貧困状態」

# どんな暮らしか～布団がない

※家の中は外から見えない。2021年末から大阪府災害備蓄品の布団セット・コンロ・ライト・鍋・包丁などが度々入ってくるようになり、ママたちに「いりませんか？」と呼びかけ。それに対する声から見えてきたこと

- 4人家族だが二人分の布団しかない
- 夏布団しかなく冬は震えている
- 赤ちゃん布団を高校生の息子が使っている
- 高校生の娘と一枚の布団で寝ている
- アトピーで掻きむしって血だらけの布団に寝ている
- カビだらけの布団で寝ている

# どんな暮らしか～電化製品

※スペシャルボックスに毎月入れる手紙に毎回「電化製品壊れてませんか？たぶんなんとかなりますよ」という呼びかけをしている。

- 炊飯器が壊れていて鍋で炊いているがうまく炊けない
- 拾ってきたコンロで本来は二口だが一口しか使えない
- 冷蔵庫以外の電化製品はすべてコンセントを抜く
- 家の中に灯りがつくライトが一つしかない
- 洗濯機が壊れていて手洗いしている
- 湯沸し器がなく、風呂場のお湯で食器を洗っている

# どんな暮らしか～食

- 鍋が一つしかないので料理が作れない
- 100均で購入した包丁なので切れない
- 一日三食食べれない
- 母はご飯を食べない、母の分のご飯はない
- 給食を何人分も食べてきてもらう
- 高校になったら給食がなくなるので絶望しかない
- 調味料が高いのですべて味噌汁にしてしまう
- 外に生えている草を食べる研究をしている

# どんな暮らしか～光熱水費

- 洗濯物を減らすため夏は母は家では服を着ない
- 夏でも一週間か10日は風呂の水を替えない
- トイレは一日に一度しか流さない
- トイレは3人一度に使う
- 極暑でもエアコンは使わない
- 真冬でも暖房をつけない
- 冬は家の中でもコートを着ている

# どんな暮らしか～お金がない

- 100円が工面つかずクラブの遠征に行かせられなかった
- 積立金を出せず修学旅行を諦めさせた
- 月末にお金がなく家中お金が落ちていないか探し回る
- 学童保育のおやつ代が払えず辞めさせた
- 電車には乗らない、ひたすら自転車で行く
- 新しいノートを買ってやれず上のこどもが使っていたノートの空白部分を使っている
- 下着は一枚しかない、下着の洗い替えがない
- こどもの靴が一足しかない、こどもが穴の空いた靴を履いていて雨の日が大変



# 何がシンママ世帯を困難にしているのか

- 一人で子育てするのでフルタイム労働ができない。時給でのパート勤務
- 第1波～第5波は学校休校とシフト減、リストラで収入減
- 第6波、第7波、第8波のオミクロン株は**こどもから大人に感染**
- シンママ世帯は感染から逃れられない。こども感染⇒濃厚接触者⇒ママ感染
- 食べていないので免疫力が低く感染しやすい⇒何度もかかる人が多い。
- 日々、ぎりぎりの生活をしているため**ストックがない⇒毎日買い物に行かないと家の中に食糧・日用品がない**事態となる。
- 特に大阪では保健所機能崩壊。ファーストタッチもなし、電話もつながらない⇒公的な**食糧支援につながらない**
- 仕事に行けない⇒**次月の収入が激減**
- 2022年夏からは**物価高**でさらに困難に追い込まれる

# コロナ禍で生まれた新たな課題～オンライン

- 2020年4月から学校でも「オンライン」が主流に
- オンラインができないと授業も受けられず、大学受験もできないし、就活もできない。
- オンラインに必須なのは、スペックのいいノートパソコン・Wi-Fi・プリンター⇒オンラインはお金がかかる⇒貧困なシンママ世帯には高嶺の花
- 小学校・中学校では、これらに対する給付・リースなどもあるが、高校性・大学生にはほぼなんの支援もない。

# 高校生大学生オンラインサポート

## □サポート内容

基本は、ポケットWi-Fi+3年分の通信料+新品高スペックノートパソコン+基本ソフト+スキャナー付プリンターの現物給付。必要な場合はセットアップやzoomについてのサポートも行う。

★第1回 2021年3月→6人に給付

★第2回 2021年8月→5人に給付

★第3回 2022年6月→7人に給付

□独自財源(サポーターさんからの寄付)

# 2022年度シンママワークサポート事業

- 子供未来応援基金・助成金300万円を使って
- 昨年実施の「シンママアンケート」で一番欲しい資格はパソコンスキル  
⇒ ママの「やりたい」を実現する。
- ノートパソコン貸与(最終的には給付)
- 2022年5月～2023年2月まで毎月2回×10か月=20回のパソコン・オンラインスキルアップ研修。リアルとzoomで。
- 最終的にはWordとExcel MOS(マイクロソフトオフィススペシャリスト)受験を目標に
- 15人のママたちが参加⇒ MOS資格試験Word 11人合格、Excel 8人合格

# 2020年11月 振袖サポート



# 2021.4入学式訪問着サポート



# 2022年もきものサポートしています



# 2022年8月 浴衣でおでかけ



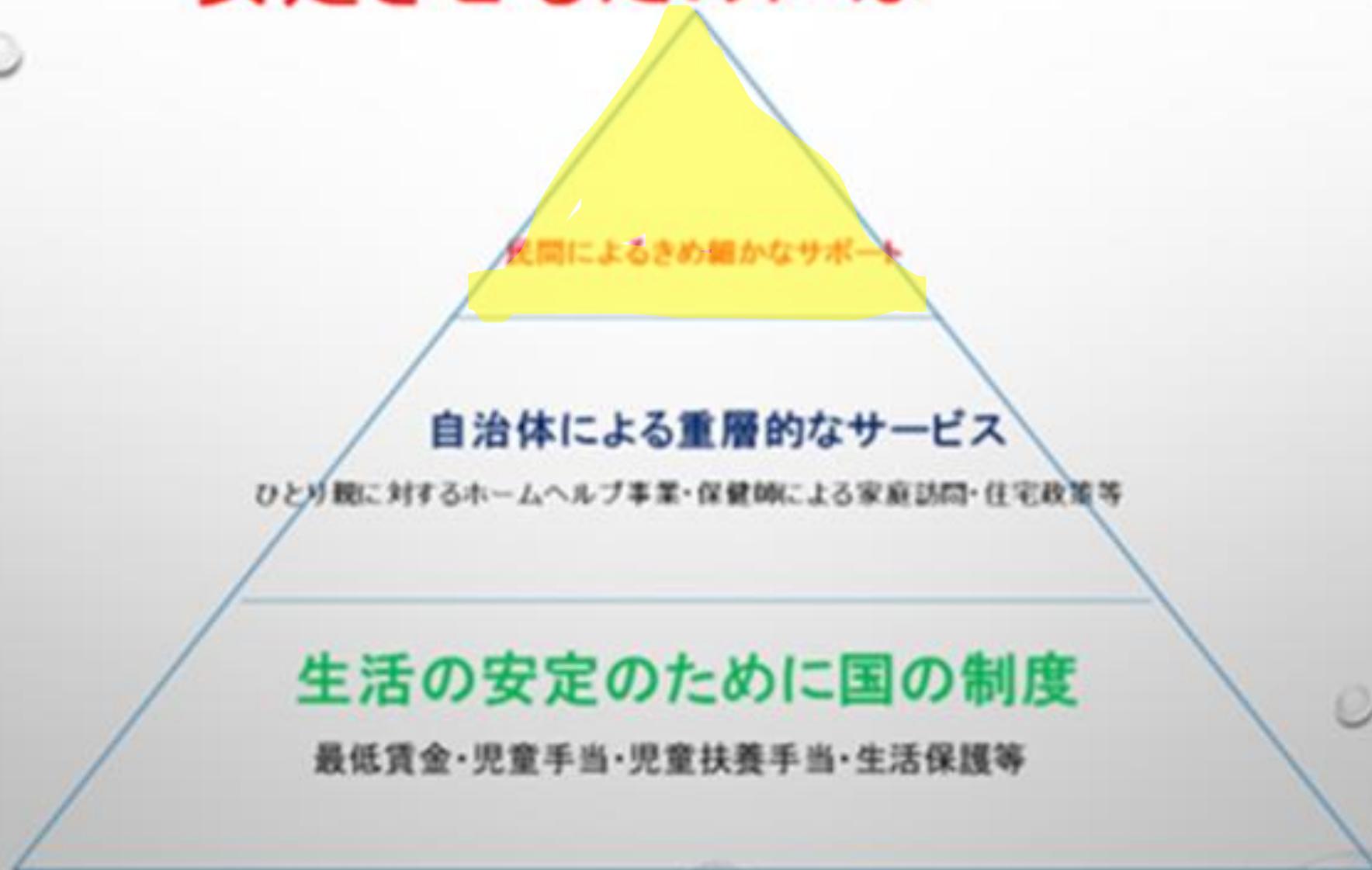


子どもたちにはピカピカの新品を





# ママと子どもたちの生活を 安定させるためには



- サポートは**技術**ではない。
- サポートは**支援者がやりたい支援**をすることではない。
- サポートとは「**あなたが大切だ**」を伝えること。**言葉**は**いら**ない。**行為**で、**物**で。
- 主人公**は**当事者**であり**支援者**ではない。

ママたち子どもたち・女性たちの幸せのために  
～あなたもぜひサポーターさんに

寄付の振込先は

ゆうちょ銀行 名義 シンママ大阪応援団

14010-62389691

他行から 店名四〇八 普通6238969